



## 埼玉県比企郡ときがわ町指定天然記念物である 「いちよう銀杏こうけいじゅ」の後継樹の里帰り

### ー林木遺伝子銀行110番による樹木の増殖サービスー

#### ポイント

埼玉県比企郡ときがわ町の町指定天然記念物である「銀杏」（イチョウ）の後継樹の苗木が国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターから里帰りします。

#### 概要

茨城県日立市にある国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センターでは、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、これらを品種開発等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を行っています。このサービスを活用して、さし木により増殖し育てた埼玉県比企郡ときがわ町の町指定天然記念物である「銀杏」（イチョウ）の後継樹の苗木が、3月16日にときがわ町に里帰りします。

#### 問い合わせ先など

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター

事業責任者：遺伝資源部 探索収集課 課長 山田浩雄

担当者：探索収集課 遺伝資源収集係長 山口秀太郎

広報担当者：育種企画課 調整係長 小野雅子

Tel : 0294-39-7002 Fax : 0294-39-7306

本資料は、林政記者クラブ、農林記者会、農政クラブ、茨城・埼玉の各県政記者クラブ、日立市役所記者クラブに配付しています。

## 背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多くあります。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けていることから、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れていることが見込まれ、林木遺伝資源として貴重なものです。

このため、森林総合研究所林木育種センターでは、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により、衰弱しているこれら樹木の後継樹の苗木を増殖し、里帰りを行うサービス「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しており、これまでに全国の 170 本以上の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを行ってきました。後継樹の苗木は、さし木や接ぎ木で増殖したクローンの苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていますので、二代目として大きく成長することが期待されます。

## 内容

今回里帰りする後継樹は以下の苗木です。

○埼玉県比企郡ときがわ町の町指定天然記念物に指定されている「銀杏」

この「銀杏」は、県道飯能一寄居線脇にある樹高 32m、幹周り 9m の巨木で、樹齢は 1200 年といわれています。平成 24 年 5 月に腐朽が進行している部分があったことから、町の教育委員会から後継樹の増殖の依頼を受け、同年 6 月に穂木を採取してさし木増殖を行いました。その結果、10 本の苗木を育成することに成功し、今回 50cm 程度に育てた苗木 2 本が 3 月 16 日に地元へ里帰りすることになりました。残りの 8 本については林木育種センター内に保存することとしています。

## 図、表、写真等



ときがわ町の「銀杏」



「銀杏」の後継樹（さし木苗）  
苗畑での育苗



里帰りする後継樹